

VOL. 185  
**11月号**  
発行日 2012/10/31  
発行元  
**産業情報化新聞社**  
TEL.06-6445-7800 FAX.06-6445-7805  
URL <http://www.akaruinews.com>

MONTHLY

# “日本一”明るい経済新聞



ビジネス・サクセス・ジャーナル BSJ

## 挑戦

## 世界初の風力発電

阪、愛知、岐阜の下請け部品加工業に呼びかけ、12-13社が集まった。

「国内産にこだわっています。中小企業が直接手がけることで、品質を落とさずにコストを下げたい」と。モノづくりのノウハウを活かし安く製造する方法を大塚教授に提案、九大で力学的な検証をしながら取り組む。試作機が完成し、博多湾の洋上発電でテスト中のほか、カナダで同風車の性能認証試験を実施している。

九大の  
レンズ  
風車

風車だけでなくボールなどを含めた総合コストでは、「ほぼ商品化できる段階にある」という。来年には京都府

南丹市蒲生町で月産数十台規模を目指してスタートしたいという。

「世界一発電効率の高い風車。風車の羽根の周りにディフューザーと呼ばれるリング(環)がある。これにより、風を増速させ、従来の風車に比べて2-3倍の発電量を得ることできるという。また、ディフューザーがあることで騒音問題の解消にもつながる。平均風速4メートル以上が望ましい。定格風速11メートルで3キロワットの発電能力がある。」

精密部品加工の共立機工(☎0771-65-0065)は、中小の町工場10社強とコラボして、九州大学応用研究所の大塚教授が開発した世界初のレンズ風車による風力発電事業に取り組んでいる。

大手にはない中小のモノづくり力を活かし、九大発ベンチャー、リアムウインド(福岡県春日市)の製造部門を支援する。この風力発電機は、「以前大手企業で商品化されましたが、コストが高く粗雑。そこで、製造部門を我々中小企業が再チャレンジしています」と、岩永康弘社長。

風車に興味を持つ岩永さんは、大塚教授に直接掛け合い、大手企業に代わって製造部門を買って出た。精のつなかりを活かして、高野鉄工所、城陽メタルなど京都をはじめ大

## 岐阜企業初の認定!

日本一明るい経済新聞とNPO法人・明るいシステム倶楽部が展開する、明るい職場の認定制度「AKS0041」の第21番目の会社として、日本ウエストン(☎058-279-0291)を認定した。「AKS0041」は、本紙とNPO法人・明るいシステム倶楽部(理事長・岩田雅弘氏)が協力して、会社を明るくする仕組みづくりを構築、実践する運動。

## AKS0041 認定取得



## ●日本ウエストン●

明るい職場をつくる!明るいセミナーは9月27日に開催、約100人が参加して行われた。今回、認定を取得した日本ウエストンは、岐阜市津島町にある工業用のウエスや手袋のレンタル・販売から、航空機用の特殊な高級クロスの生産・販売を手がける。

本社と社会福祉法人で障がい者を多数雇用する一方、職場では全社員参加の明るい活動を展開。社歌が流れるワクワク朝礼、メキメキ教育、キラキラ表彰、ウキウキ行事など、デイズニーランドに負けない明るい職場づくりを進めている。岐阜から2人の担当者が駆けつけ、竹原編集長と対談した。恒例の参加者全員による大ジャンケン大会でお菓子がプレゼント。その後、参加者による懇談会が開催された。(関連記事4面)

## 2日前には予知!

NPO地震予知ネット(☎06-6389-2700)の森川嘉大理事長は、地下水位と水温の変化による地震予知を研究、注目されている。「いろんな分野のグループと連携したい」と、データ分析の協力者を求めている。

森川さんは、阪神淡路大震災をきっかけに、大阪府津島市長



## ●NPO地震予知ネット●

だったころ、職員数人と自主研究グループを立ち上げて地震予知に挑戦。2005年に4NPO法人「地震予知ネット」を立ち上げ、津島市、

美木市、通賢町東近江市鶴江町の各自治体の協力を得て、3地区から地下水位と水温のデータの提供を受けて研究を行う。

「水位や水温は、ほぼ毎日同じようなグラフで推移しますが、時々通常とは違う異常な変化が現れます。そうすると、2-3日後にはどこかでM6以上の地震が起こっています」と。地球規模で起こる地震と、このデータを照らし合わせて、「ほぼ間違いなく2日前には予知できます」と自信を持つ。

参考文献などは無く、森川さんは全て独学で研究。「ただ、東日本大震災の時は、年度末で各自治体とも井戸とポンプの点検中でデータが取れていなかった」と残念がる。

## ミャンマーで仲間を増やしたい

「16年間ミャンマーで仕事をしています。今は風が吹いているというより、台風のようなもの。日本企業の視察ラッシュが続き、飛行機の予約は取れない。現地のホテル代が3倍にも上がっています」



## I TC代表 滝田 盛之さん

「民生化がスタート、米国の関係が急速に回復して軍事政権のイメージが薄れてきたこと、一方で、日本と中国との関係が悪化していること、魅力も大きい」

「独立に日本企業が協力した歴史的な背景はあり、ミャンマー人は人の国だからです。日本人、日本製品が大好きです」

「中東トラフィック、家電の販売などを手がけてきましたが、失敗の連続(笑)。そんななかで、ハンセン病患者達とご家族との出会いがあり、自立や就職支援のため美容室の経営を始めました。今はエステサロンもやっています」

「エスサロンのニーズもある。ヤンゴン市の人口1%に当たる3万人は、日本人以上のお客持ちです。日本製高品質商品の購買意欲も強い」

「中小企業の進出の可能性は、大型投資はまだ早いですが、小さなビジネスの可能性は大いにあります。ミャンマー人は人と人のつながりを大事にしますから、中小企業にはピッタリ。度行かれて自分の目で確かめること、仲間を増やしたいですね」

「住所は大阪府高市町高師浜2-1-301」

☎電話 08-80-56301-41223

事業内容 ミャンマーでの美容室・エスサロンの経営、そのほかアジア周辺での貿易業務など

## 米国進出をサポート

米国カリフォルニア州在住の鶴亀彰さんは、仲間と「橋リンク社」(<http://www.hashilink.com>)を立ち上げ、日本の中小企業の米国進出をサポートする。第1弾で大阪の中小企業のオリジナル工具を全米で販売する。

鶴亀さんは46年間米国に在住。うち32年間はインディペンデント・ビジネス・コーディネーターとして、米国での経験、知恵、人脈を活かして営業所の開設、工場づくり、商品販売など進出の戦略立案と実務支援を行う。

「日本の中小企業は、今こそ海外に目を向け、

## 今こそ海外へ



## 第一弾がエンジニアの工具

優れた技術製品を米国市場で販売すべき。その橋渡しを果たしたい」と、仲間8人と橋リンク社を設立した。日本人と米国人が参加。ハイテクベンチャーで大成功したメンバーも加わる。

「ビジネスのテンポが速くなって、1年以内で目途を測けないといけない」と、日本全国で環境、医療、電子機器などオンリーワンの技術を開発。また、技術製品以外では食品などにも興味を持つ。

その第1弾がエンジニア(大阪府東成区)の国内ヒット商品であるネジを簡単に外せる工具「ネジザウルス」。米国では、「ヴァンプライアーズ」の名前に変更して、自動車修理工場、便利屋さんなどのプロルートを相手に市場に浸透させる計画。「市場のニーズがあり、成功は間違いありません」と、自信を深めている。

## 分析協力者を求む

「データに基づく地震予知をWeb(<http://www.jishinnyochi.net/>)で提供。地下水位と水温だけでは、震源地域の特定が困難で、高校生や大学生などのグループと協力し、今後、予知の精度を上げたい計画だ。」

### NEWS ヘッドライン

- ・挑戦、どこでも発電——軽い、薄い、巻ける (2面)
- ・髪の毛でニッポンの元気——雨にも風にも強い (3面)
- ・明るく働く!社歌が流れる朝礼 (4面)
- ・世界へ羽ばたく元気企業——中国で製造、ドイツに販売 (5面)
- ・運戦運勝——女性社長の気配り経営 (6面)
- ・人気スポット、多彩な紙製品を販売 (7面)
- ・スタッフパワーで大躍進、元気の出る仕掛け満載 (8面)



# 明るく働く!

## 社歌が流れる朝礼

岐阜市の日本ウエストン（☎058・279・0291）の職場はウエストン社歌が流れる朝礼で始まる。社員は明るく嬉々として働く、元気な会社だ。

工業用のウエスや手袋のレンタル・販売から、航空機用の特殊な高級クロスを生産・販売まで手掛ける。社員30人（うち6人が障がい者）で、手作業が多いのが特色。

「社員が自分で人生設計し、自慢の出来る責任ある仕事と高収入による幸せな家庭が築ける会社になりたい。また障がい者も、伸び伸び参画できる仕組みをつくりたい」と、白井麻紗社社長は熱く語る。

岐阜県岐阜市の南西部郊外に本社と工場がある。昭和45年に白井社長の義父が創業。「ウエスは企業ごとに要求される品質が違います。外国製は10回も洗うとボロボロ。わが社では糸から撚って強くし、吸取も良くしていますから、40回洗えます。ボーイング社の航空機や日本のH2ロケットの製造で使用するクロスの販売もしています」と。

**おまけ**＝人を大切にする日本ウエストンの経営は、広く注目されており、今年の「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞（第2回）の、中小企業部門の大賞となる「中小企業庁長官賞」を受賞した。



障がい者がのびのび活躍

仕分けなど手作業工程が多くあり、その担い手として障がい者が活躍。工場は、最新の排水処理施設により完全クローズシステムを採用。洗濯排水は、再生水として再び洗濯水に使用する。2000年に業界初のISO14001の認証を取得。見学者も多い。

職場は、全社員参加の明るい活動がある。ワクワク朝礼、部門別月次レビュ

一会、25kmウォーク、ありがとうカード、社員トイレ掃除など。月に一度の早朝環境整備（清掃）は、18年間も続いているという。

18年間  
早朝環境整備

## 元気づくりを応援

ネイティブヘルス（☎06・4802・6880）は、大阪市北区で菜食整腸健康法を実践するサロン。ベリータッチ（腸もみ）と火を使わない酵素たっぷり

腸もみ

活動を始める。「最は一線画すために」という表現で腸もみます」と真摯に取り組み、回復、細胞の活性化

# 岐阜企業初の認定!

日本一明るい経済新聞と NPO 法人・明るいシステム倶楽部が展開する、明るい職場の

障  
が  
い  
者  
雇  
用  
に  
カ

認定制度「AKS0041」の第21番目の会社として、日本ウエストン(☎058・279・0291)を認証した。

「AKS0041」は、本紙と NPO 法人・明るいシステム倶楽部(理事長・芦田雅弘氏)が協力して、会社を明るくする仕組みづくりを構築、実践する運動。

## AKS0041 認証取得



明  
る  
い  
職  
場  
づ  
く  
り

### ●日本ウエストン●

明るい職場をつくる!明るいセミナーは9月27日に開催、約100人が参加して行われた。今回、認証を取得した日本ウエストンは、岐阜市柳津町にある工業用のウエスや手袋のレンタル・販売から、航空機用の特殊な高級クロス生産・販売を手がける。

本社と社会福祉法人で障がい者を多数雇用する一方、職場では全社員参加の明るい活動を展開。社歌が流れるワクワク朝礼、メキメキ教育、キラキラ表彰、ウキウキ行事など、ディズニーランドに負けない明るい職場づくりを進めている。岐阜から2人の担当者が駆けつけ、竹原編集長と対談した。恒例の参加者全員による大ジャンケン大会でお菓子がプレゼント。その後、参加者による懇談会が開かれた。(関連記事 4面)